

中国文字学



上海辞书出版社

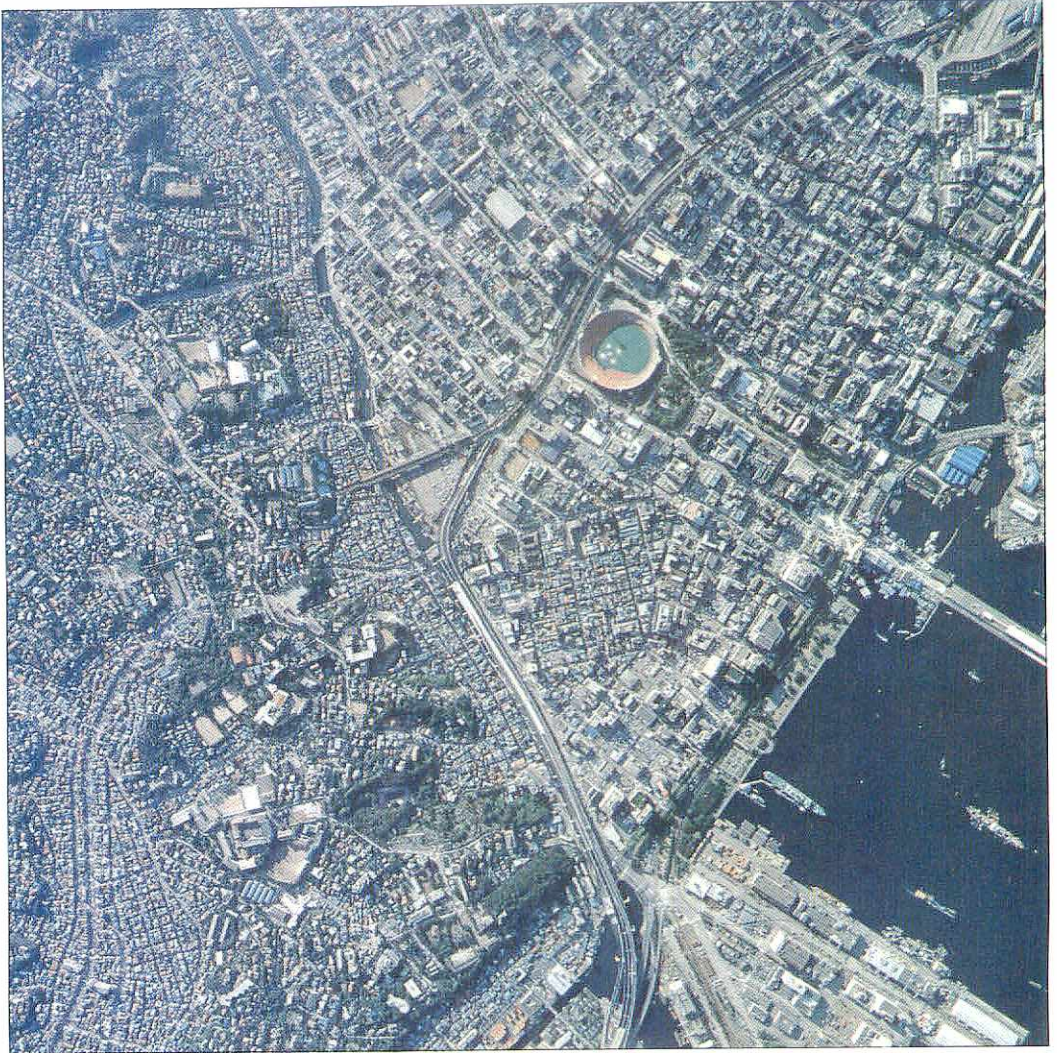




左手前すみ、大岡川をはさんで関外地区と野毛地区の一部、中央手前の空き地は「みなとみらい21用地」、その右は高島ふ頭、西区の市街がひろがる。



横浜港を真上から見る、中央のふ頭は新港ふ頭、左手前は山下ふ頭、市街地は関内地区。



左手は山手、北方、根岸の各地区、右上のみどりの円形は横浜スタジアム、それをはさんで関内地区と関外地区。



ななめの川は大岡川、川の左は関外地区、右は野毛地区と西区の市街、みどりの丘は野毛山公園。



左、南北に流れる川は堀割川、東西は中村川と大岡川、中区に隣接する南区の市街がつづく。左手前にはみどりに沿って接収地の根岸住宅が見える。



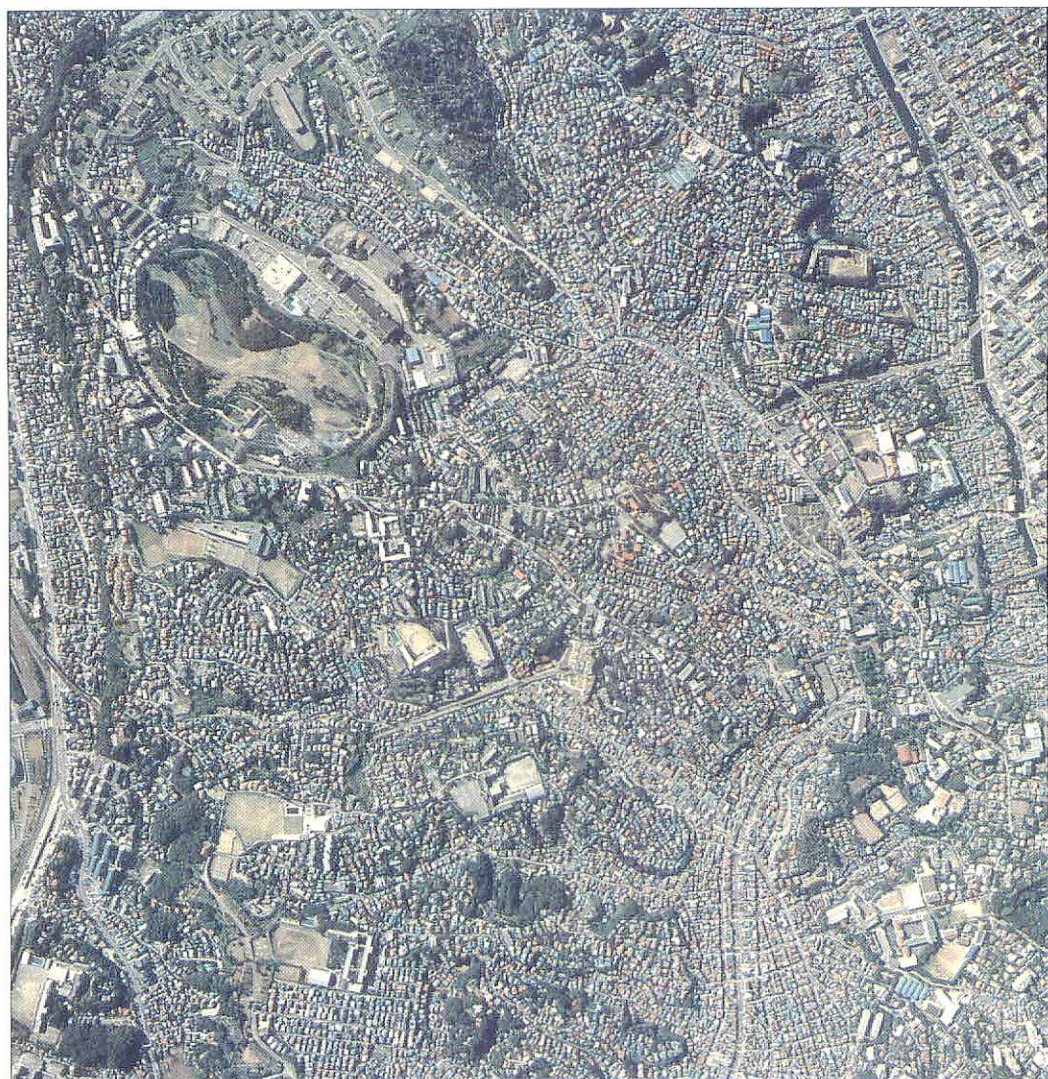
上から山下ふ頭、本牧ふ頭A・B・Cの各突堤、市街地は山手と北方地区の一部。



市街地は本牧地区、中央部の空き地は旧本牧接収地、市街化の基盤整備工事が始まっている。



本牧ふ頭の先端、手前は埋立中のD突堤、つづいてB、C突堤、海面に船数隻。



丘陵地を埋めてつづく根岸地区、左上のソラマメ形は根岸森林公園。



本牧ふ頭C、D突堤の基部、左上の臨海部は錦町、本牧港湾関連産業用地の一部。



臨海部は、豊浦町、かもめ町の石油コンビナート、大きくカーブするのは産業道路、みどりは三溪園と本牧市民公園、右の住宅群は本牧地区。



巨大な石油コンビナートのつづき、磯子区鳳町、右手の住宅は根岸地の一部。

●あとがき

刊行までのいきさつ

この本は、会長のご挨拶のとおり、区制五十周年記念事業として計画され、実現を見たものだが、そのはじめは、昭和五十一年（一九七六）十一月、中区連合町内会長連絡協議会の会員十一人によって世話人会が発足、五十周年記念の事業の内容が検討されたことであつた。

五十二年一月、世話人会は区内の各種団体（四五団体）に協力を要請、その結果二月には「中区制五十周年記念事業実行委員会」（会長 磯野庸幸氏）が結成された。第一回の役員会によって記念式典の具体的方法と区史の編さん刊行が決められた。

十月一日、馬車道の市民ホールで「中区制施行五十周年記念式典」が約一千人の区民の参加によって、盛大に行われた。

式典終了後、役員会で、区史刊行のために必要な基金募集とその方法が決められ、事務局は中区役所があたり、ただちに募金活動が開始された。目標額一、五〇〇万円、区内の企業と町内会などに呼びかけられた。活動は自治会・町内会長・各種団体の協力を得ながら一年と二カ月にわたつたが、五十四年二月にはほぼ終り、目標額を上回る基金を得られた。

一方、十月の記念式典に先きだつ五月下旬、市立小・中・高等学校の教員有志に委員を依頼して第一回の編集委員会が開かれ、沿革編、地区編、市民編の三編をもって全体を構成することとして区史編集の第一歩がはじまった。まず事務局が中心となつて区民から資

料、談話を求めることとなり、町内会や各種団体の協力をえて、五十四年いっぱい資料、談話の収集が実行された。翌五十五年はそれを集約することに没頭した。

一方、五十五年には編集委員により地区編の約半分を残して草稿がほぼ出来たが、編集委員は公務の都合もあつて、辞任。残りの委員による第二次の編集委員会に編集の責務が引きつがれた。五十七年、第二次編集委員会は、地区編の補足、市民編の再検討を行ない、素原稿として一応のまとめを行った。

しかしこの間、各地区の変化ははなはだしく、市民編を編年体に変更したこともあつて素原稿をもとにして編集することは困難となり、五十八年、五十九年の二カ年にわたつて各編の素原稿の大はばな改訂と、全体調整の作業を余儀なくされた。五十九年前半、ようやく各編の確定原稿が完成、印刷に回つた。一方、実行委員会は、刊行の遅延に対処するため、財務委員会と編集推進委員会を設け、一日も早い刊行を図る方策がとられた。

以上は刊行までのいきさつだが、この本は計画から刊行まで、実に多くの人々の直接・間接的な参加と、善意あふれる協力と、しづかなる督励と寛容をいただき完成したもので、編集委員の一人として心より御礼を申しあげたい。

なおこの本は年月をかけたとはいえ、不足の部分も多く十分なものではないので、今後の改訂増補を期待したい。また将来、「横浜・中区百年史」が編集される際、この本がその礎石の一つとなることを確信している。

（秋 山 佳 史）

横浜・中区史

発行日—昭和六〇年二月一日(限定版)

編著——中区制五〇周年記念事業実行委員会

協力——MATCH & Co.

発行者—中区制五〇周年記念事業実行委員会

横浜市中区日本大通三五(横浜市中区役所総務課内)

郵便番号—二三一

電話—横浜〇四五—六五一—四一五六

印刷所—大日本印刷株式会社(横浜)

東京都新宿区市谷加賀町一—一一一

頒価——三、八〇〇円

中区民相談室